

施工業者様用

〈施工説明書〉

詳しい施工手順は
右記のQRコードから
動画を参照下さい

QR未入

天井ジャスト 開きドア専用枠材

ピノアース

固定枠 155 170

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。



必ずおこなう

・躯体に欠点がないことを確認する。
縦枠を取り付ける際、躯体のビスがあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、ビスが固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

お願い

・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

施工終了後

◆養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆お手入れのしかた

製品の表面が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット						
部材名	縦枠 (丁番側) 	縦枠 (ラッチ側) 	戸当 	戸当ゴム (丁番側) 	戸当ゴム (ラッチ側) 	戸当用 接着剤 
入 数	1本	1本	2本	1本	1本	1本
備 考 (部材品番)	—	—	—	—	—	ZYGL50

ビスセット(枠本体セットに梱包)						
		袋の色	赤			黄
部材名		組立てビス ラッパ	木ダボ ビス	敷居ベース ビスラッパ	枠固定 ビス	
	セット品番	 φ3.8×50	 φ6×35	 φ3.5×25	 φ4.2×60	
入数	ZYBA23	4本	2本	4本	9本	
備考						

丁番セット(4丁番の合計数)						
部材名	丁番 本体 	枠材 カバー材 	扉側 カバー材 	枠・扉用 取付ビス  φ5×20	調整用 六角レンチ 呼び3 	丁番施工 アシスト 治具 
入 数	4個	8個	8個	16本	1本	4個
備 考 (部材品番)	—	—	—	—	—	—

別売品 鴨居セット+ビスセット				
部材名	鴨居	カバー材	カバー材 接着剤	枠取付 ビス
入数	1本	1本	1本	3本
備考 (部材品番)	—	—	ZYGL50	—

枠材 断面形状

固定枠155 縦枠	固定枠170 縦枠	戸当り／鴨居カバー材	固定枠155 鴨居	固定枠170 鴨居

納まり図

2方枠納

■縦断面図

(単位:mm)

■横断面図

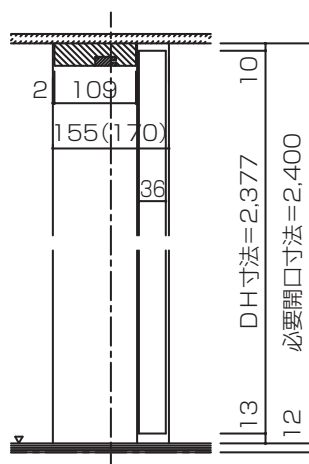
(単位:mm)

①DW寸法	793	723	703	680	599
②枠内寸法	802	732	712	689	608
③枠外寸法	848	778	758	735	654
④枠内寸法	782	712	692	669	588

※図示：右吊り元

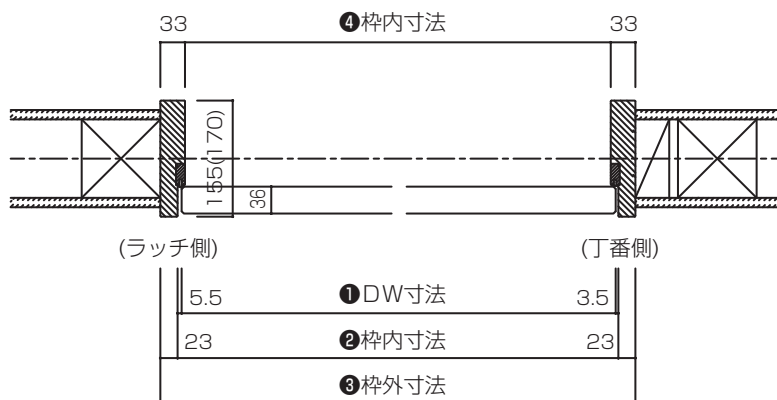
■縦断面図

(単位:mm)



■横断面図

(単位:mm)



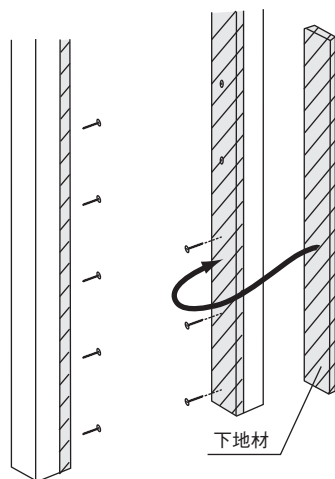
①DW寸法	793	723	703	680	599
②枠内寸法	802	732	712	689	608
③枠外寸法	848	778	758	735	654
④枠内寸法	782	712	692	669	588

※図示：右吊り元

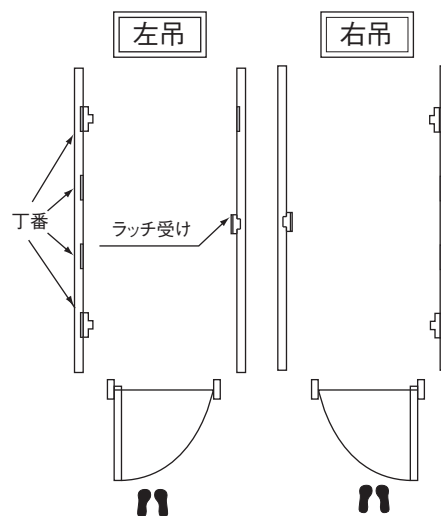
施工手順

1 取付開口部の確認・吊り元確認

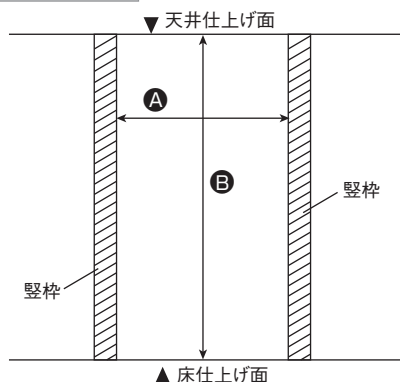
■取り付け開口部の確認



納まり図を確認の
うえ、枠材寸法に
見合った開口を設
けてください。



重要

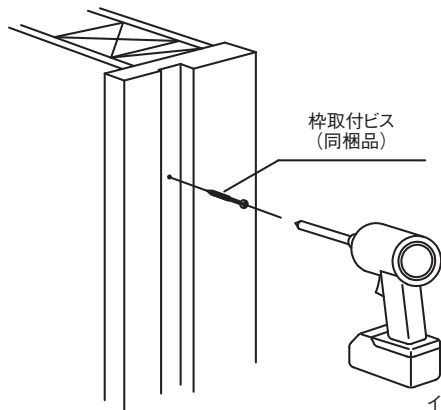


- Ⓐ 枠内寸法が納まり図と同寸法になるように開口を仕上げてください。
- Ⓑ 床仕上げ面から天井仕上げ面までがH=2400mmになるように仕上げて
ください。

⚠ 注意

Ⓐ・Ⓑ 寸法が守られないと、ドアが納まらなくなる可能性があります。

2 縦枠の取り付け



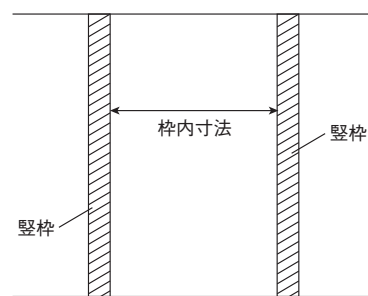
インパクトドライバー (現場調達)

縦枠を枠取付ビス (同梱品) で
躯体に取り付けてください。
ビスは戸当り溝の中心で、戸当
で隠れる場所に打ち込んでく
ださい。
打ち込む際に、戸当り溝面より
ビス頭が飛び出さない様にし
てください。戸当りの取付がで
きなくなります。



注意

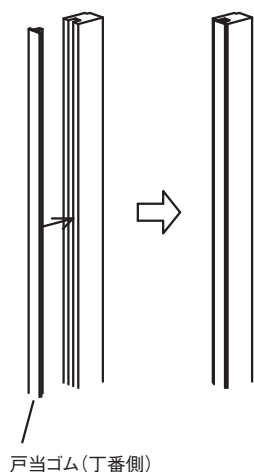
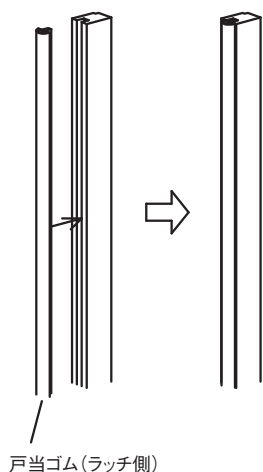
縦枠を取り付けるときは、納まり図をよく確認し、
枠内寸法を確保してください。枠内寸法が異なっ
ていると、ドアが取り付けられない可能性があります。



3 戸当りに 戸当りゴムの取り付け

ラッチ側戸当りゴムの取り付け

丁番側戸当りゴムの取り付け



戸当りに戸当りゴムを取り付けてください。
戸当りの溝に戸当たりゴムの脚部をしっかりと押し込
んでください。
戸当りゴムには「ラッチ側」と「丁番側」があります。
縦枠に戸当りを取り付ける際は、ご注意ください。

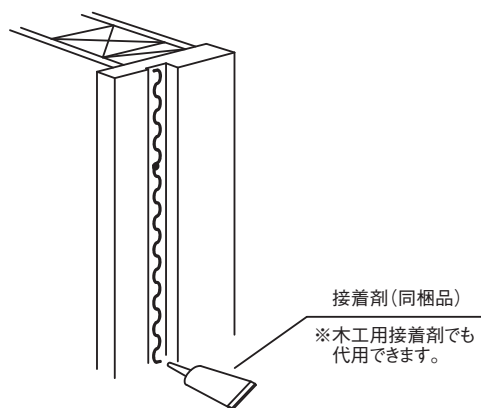


ラッチ側戸当りゴムを付けた 戸当り



丁番側戸当りゴムを付けた 戸当り

4 戸当たりの取り付け



縦枠に戸当りを取り付けます。

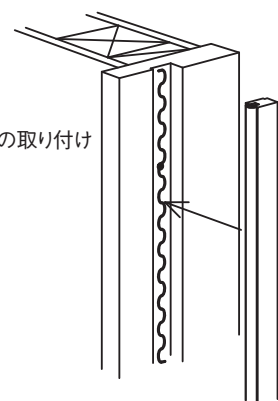
戸当たり溝に、同梱の接着剤をしっかりと塗布してくだ
さい。

戸当りを取り付ける際に、戸当りゴムの形状が、「ラッ
チ側」「丁番側」とそれぞれ違いますので、ご注意ください。
また、取付方向も図を参考に間違いの無い様に取り付
けてください。

当木等をして傷が着かない様に木槌などでしっかりはめ
込んでください。最後にフィニッシュネイルを打ち込
んで完了です。

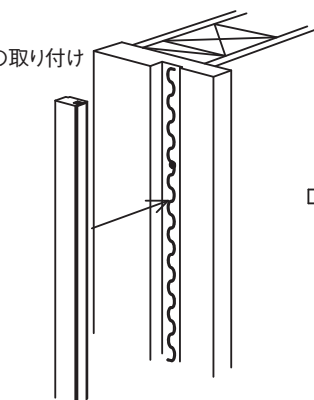
※右吊の場合

ラッチ側戸当りの取り付け



フィニッシュネイル
(現場調達)

丁番側戸当りの取り付け



フィニッシュネイル
(現場調達)

5 丁番の取り付け

「三次元調整機能付き隠し丁番」の取り付けは、別梱包の「三次元調整機能付き隠し丁番」の中に、ございますので参照ください。

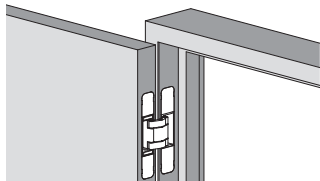


〈施工説明書〉

三次元調整機能付隠し丁番

株式会社 **ウッドワン**
 〒738-0023 広島県廿日市市下平良 1-12-1
 フォンデ(株) TEL 0820120-813-331

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。
 施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
 施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。



■本製品について

- 扉と側板に埋込取り付けする屋内建具用の隠し丁番です。
- 上下、左右、前後方向に微調整ができます。

■取り付けできる扉

厚さ	29 mm以上
サイズ	幅900 mm 以下×高さ2400 mm以下

■部品構成 (小箱あたり)

- ・ 隠し丁番 2ヶ
- ・ ねじカバー 4ヶ×2セット
- ・ 十字穴付皿タッピンねじ 5×20 4ヶ×2セット
- ・ 六角レンチ 呼び3 1ヶ
- ・ 吊込治具 2ヶ

■正しく安全に施工していただくために

図記号の意味



警告
注意



禁止



厳守

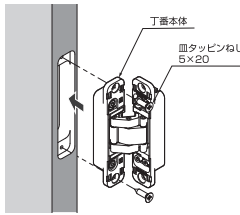
⚠️ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ❶ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐える強度の特を用意してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- ❷ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ❸ 併用するクローザーによっては、丁番が破損したり、動きが悪くなったり、扉が閉まりきらない場合がありますので、事前にご確認ください。
- ❹ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。扉や枠の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❺ 本製品は建具を構成する為の部品です。施工後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認いただくとともに、使用者へ建具を安全に使用するための注意喚起もしてください。
- ❻ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください（お使い始めから1か月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安としてください）。

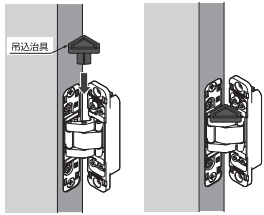
1

■施工手順

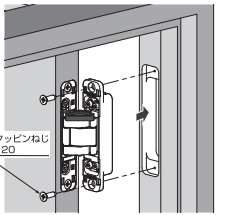
1 扉への取付け



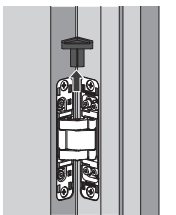
2 治具の取付け



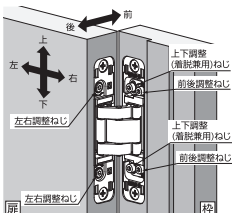
3 扉の吊り込み



4 治具の取外し



■扉の位置調整



上下調整 (ねじ)
前後調整 (ねじ)
左右調整 (ねじ)

調整方向は扉を閉めた状態での方向を示します。

左右の調整

ねじ（1つの丁番に2ヶ所）を回すことで扉を動かして調整をします。（右に回すと枠と扉のすきまが広がります）

❶ 2つのねじを少しずつ同じ量だけ回してください。片方だけ回し続けると丁番が破損するおそれがあります。

⚠️ 調整範囲は±2 mmです。調整ねじを右に回す時はそれ以上に動きますが、部品がせり出すため、ねじカバーがはまらなくなります。更に回し続けると扉が外れてしまいます。

上下・前後の調整

ねじを半～1回転分緩め、扉を最適位置にした状態でねじを締め込みます。扉の下にかいもの等を用いて扉を保持しながら作業してください（推奨締付トルクは3.5 N・mです）。

❷ 前後調整ねじは外さないでください。扉が脱落してけがをするおそれがあります。

2

5

